



# 千葉労働車

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.2.18 No. 3350

## 「91.3 ダイ改」で「検修合理化」 車両交番検査の「キロタイプ」廃止反対 これ以上の検査周期の延伸は安全をおびやかす!

車両検修関係に関する

申し入れ(申12号)

二月一五日に団体交渉

勤労千葉は、二月十四日、「申十二号」について、JR千葉支社と団体交渉を行い、今回当局が強行しようとしている交番検査の「キロタイプ」の廃止提案に対し、運転保安上からも極めて危険であることを指摘し、提案の撤回を述べてきたところである。

また、今回の提案に対しては、車両技術分科会を中心にして検討が重ねられ、一月二十七日、二八日の定期委員会の中では、具体的に各区の問題点を掘だし、要求として当局に誠意ある回答を求めた。

しかし、千葉支社は、何らまともな回答をすることができず、逆に「基本的考え方」は信頼性理論に基づいて行う」と、全く理解しがたい「理論」を持ち出して、これを回答だと言っている。

故障原因や消耗品等の具体的資料、データを何ら明らかにせず、単に「大丈夫だから大丈夫」という不誠実な態度で団交に臨んでおきながら、何が「信頼性理論」だ。一体何を「信頼」しろと

いうのだ。これで安全な車両を確保しようというのはとんだ笑い話である。また、安全な車両の確保という点から、現在、検修職場で深刻な問題になっている技術断層の拡大、技術者養成のシステムについて、当局の考え方を追求してきた。

しかし、当局の回答には、前向きな姿勢は全く感じられないものであった。国鉄時代からの新規採用の停止と、「人活センター」から始まった検修や乗務員からの営業への強制配転によって、検修職場においては大幅な要員合理化が行われ、このままでは万全の保守・点検が危ぶまれるところまで来ているのだ。

勤労千葉は、当局が、これからも不誠実な団交に終始し、安全を切り捨てる「キロタイプ廃止」を強行するならば、断固としてストライキで闘うのみである。

全ての組合員は、万全のストライキ体制を構築し、二・二五ストへ突き進もう!

### 佐倉支部定期大会

成功がちとる!

佐倉支部第十一回定期大会は、二月四日十七時半から佐倉機関区において、組合員二二名の参加のもと勤労千葉本部より、中野委員長、田中書記長をむかえ開催された。

田中副支部長の司会で始まり、中鉢さんを議長に選出し大会は進められた。

はじめに宮内支部長が、「日本階級闘争は、現在の最大の犯罪である中東湾岸戦争に賛成か反対かが問われており、反対集

部が問題である。我々は社・共を越えた運動をつくりだそう。とりわけ九一・三ダイ改は勤労千葉の一支部として闘おう」とあいさつした。

来賓あいさつにたった中野委員長は、「九一年という年は、国鉄分割・民営化後四年たつて、種々な問題があり、国鉄問

題の年となるであろう。

反転攻勢にたつため、九一・三ダイ改をストライキで闘おう」とあいさつした。

その後運動方針、予算(案)の提起ののち、九一・三ダイ改についてなど、勤労千葉本部への質問と支部旅行会のとおりくみなど質問があり、運動方針を承認して、新たな執行部を選出して、支部大会は終了した。

我々佐倉支部も組合員二八名であるが、勤労千葉の一翼をにない、九一・三ダイ改阻止するために、ストライキで闘うことを明らかにします。

#### 新たな支部役員

- 支部長 宮内正志 運士
- 副 綿貫栄一 運士
- 書記長 田中龍美 車技
- 執行 岩田喬 車技
- 委員 中台政幸 事務
- 篠田俊夫 運士

#### 九一・三ダイ改合理化

業務紛争攻撃粉砕、スト貫徹

二・二二勤労千葉総決起集会

日時 二月二二日(金)一八時

場所 千葉市民会館 小ホール